

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								2.8
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.7	0.35	-	-			2.7
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	窓: Sc=0.83, U=3.27 / 外壁U=0.285 / 屋根U=0.556	4.0	0.25	-	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.4	0.25	-	-			2.4
3.1 昼光利用		1.8	0.43	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		-	-	-	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.21	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-			
4 空気質環境		3.3	0.25	-	-			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	告示対象外の建材及びF を全面的に採用	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	-	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		2.7	0.40	-	-			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	3階設計室・営業室 716.72㎡、執務者50人 716.72/50 14.3㎡/人	5.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		1.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー、かつ、執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを設置	4.0	0.33	-	-			
3 内装計画		1.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水は塩ビライニング鋼管(B)、汚水排水・雑排水は硬質塩化ビニル管(B) 2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.15	-	-			

	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	
2.4	信頼性			3.6	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	器具総数の過半以上で節水型器具を採用 / 可能な限り配管の系統を区分	4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	非常用発電設備を設置 / 電源設備・精密機械の地下空間への設置を回避	4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3		対応性・更新性		3.6	0.29	-	-	3.6
3.1	空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
	1	階高のゆとり	事務所部分、工場部分3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.077	5.0	0.40	-	-	
3.2		荷重のゆとり		3.0	0.31	-	-	
3.3		設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3		室外環境(敷地内)		-	0.37	-	-	2.7
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2		まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3		地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR		建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1		エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1		建物の熱負荷抑制	断熱材の強化による建物の熱負荷抑制	5.0	0.10	-	-	5.0
2		自然エネルギー利用		3.5	0.26	-	-	3.5
	2.1	自然エネルギーの直接利用	クールチューブの採用	4.0	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3		設備システムの高効率化	ERR換算値47%、高効率機器(LED照明器具など)を採用	5.0	0.39	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR換算値=47%	5.0		-	-	
		集合住宅の評価				-	-	
4		効率的運用		3.0	0.26	-	-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2		資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.6
1		水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1	節水	自動水栓などに加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2		非再生性資源の使用量削減		3.7	0.63	-	-	3.7
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クワッチャロン(路盤材) 再生加熱アスファルト混合物(表層材) ホリスチレンフォーム(断熱材)	5.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上げ材により躯体と仕上げ材の分別が容易 / 再利用できるユニット部材としてOAフロアを採用	5.0	0.24	-	-	
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22	-	-	3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン発泡断熱材の採用	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3		敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1		地球温暖化への配慮	LCCO2排出率 = 77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2		地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3		周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	